



最新のホルター心電図「ePatch」で心臓の状態を詳しく知りましょう

【日本の心疾患の現状】

2023年の人口動態統計によると、日本人の死因第2位で約15%を占めており、年間約23万人が心疾患で死亡しています。死亡者数は年々増加しており、心疾患の早期発見が重要です。そのための検査の1つが「ホルター心電図」です。

【ホルター心電図「ePatch」とは】

従来は、右のイラストのように、複数の電極やコードを装着する必要があり、日常生活の中で動きにくいというデメリットがありました。ePatchは電極と記録装置が一体となった小型かつ軽量の装置で、ご自身で胸に貼るだけで簡単に装着できます。5日間にわたり心電図を連続して記録します。コードがないため違和感が少なく、普段に近い生活が可能です。

また、長時間の心電図記録が可能のため、短時間の検査では捉えにくい一時的な不整脈や狭心症の評価に有用です。右の結果表のように、記録された心電図の波形は、AI（人工知能）により効率的に解析されます。

【検査でわかる主な不整脈】

- ・ **心房細動**：心房（心臓の上の部屋）が細かく震え、不規則な脈になる不整脈です。自覚症状がないことも多く、脳梗塞のリスクとなります。
- ・ **期外収縮**：心臓が本来のリズムとは異なるタイミングで拍動する不整脈です。自覚症状がないことが多いですが、「ドキッとする」「脈が飛ぶ」と感じることで気づく人もいます。多くの場合、すぐに治療は必要ありませんが、起こる頻度やタイミングによっては経過観察や治療が必要です。

【こんな人におすすめ】

「動悸がする」「脈が飛ぶ」「胸が苦しい」「めまい」「立ちくらみ」「失神を起こしたことがある」などの症状がある人、健康診断や人間ドックで心電図異常や不整脈の疑いを指摘された人、心臓に不安を感じる人におすすめです。

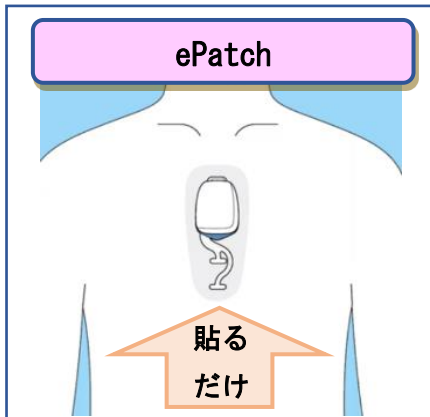
★トピックス★

ePatchは、睡眠中の脈の変化を確認することで、睡眠時無呼吸症候群※を見つける手がかりになるといわれています。不整脈の評価に加え、睡眠中の体の状態を知るきっかけとしても役立ちます。

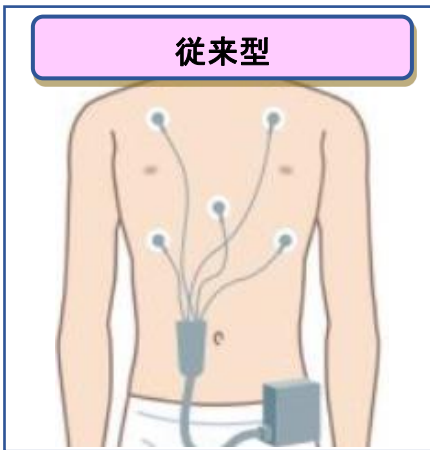
※睡眠時無呼吸症候群とは、睡眠中に呼吸が止まったり浅くなったりする状態が繰り返される病気です。

装着の様子


ePatch



従来型



結果表

PHILIPS Cardiologs			
心房細動/粗動	割合	最長エピソード	最大心拍数
代表的なストリップ	なし		
その他の上室性頻拍	数	最長エピソード	最大心拍数
代表的なストリップ	1,812	11 拍 2024/02/23の07:13:44 pmに	142bpm
代表的なストリップ：心拍数：142bpm 継続時間：3 拍			
			
ポーズ	数	最長R-R間隔	
代表的なストリップ	なし		
房室ブロック	種類		
代表的なストリップ	なし		
心室調律	数	最長エピソード	最大心拍数
代表的なストリップ	なし		
所見			
記録時間 4日 8時間 調整された記録時間 2日 22時間 解析時間 2日 22時間			
◆患者イベント 患者イベントはありませんでした。			

【オプション検査のご案内】

ホルター心電図検査：19,750円

睡眠時無呼吸検査：9,900円

参考資料：「厚生労働省」「日本生活習慣病予防学会」
「株式会社 フィリップス ジャパン」